

# 令和 3 年 度 当 初 予 算 の 概 要

第 1 . 予算編成方針と予算の規模	
予算編成方針 .....	1
予算の規模 .....	3
第 2 . 一般会計予算の概要 .....	4
第 3 . 主要事業一覧表 .....	9
第 4 . 特別会計予算の概要	
(1) 病院事業債管理特別会計 .....	1 2
(2) 国民健康保険事業会計（事業勘定） .....	1 4
(3) 国民健康保険事業会計（施設勘定） .....	1 6
(4) 後期高齢者医療会計 .....	1 8
(5) 介護保険事業会計 .....	2 0
第 5 . 企業会計予算の概要	
(1) 水道事業会計 .....	2 2
(2) 公共下水道事業会計 .....	2 5
(3) 農業集落排水事業会計 .....	2 8



## 令和3年度 予算編成方針

現在の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、感染拡大の防止策や各種経済対策を講じているものの、経済の水準は依然コロナ前を下回っており、感染症が国内外経済を下振れさせるリスク等を注視する必要がある。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針）」（令和2年7月17日閣議決定）に基づき、経済・財政一体改革を推進するとともに、感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図ることとしている。

こうした中、令和3年度の国の予算については、経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱として策定された「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」（令和2年12月8日閣議決定）に基づき、予算編成を進めるとともに、我が国財政の厳しい状況を踏まえ、引き続き歳出全般にわたり、聖域なき徹底した見直しを推進するとしている。

また、地方財政に関しては、国の取り組みと基調を合わせ徹底した見直しを進めるとともに、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額については、令和2年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保するとした。

一方、本市の財政状況については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市税の減少が見込まれ、歳入総額に占める割合の最も高い普通交付税は、合併算定替による特例的な財政措置が終了するなど、今後の歳入を取り巻く環境は一段と厳しくなることが見込まれている。

歳出面においては、人口減少や少子高齢化対策、安全・安心なまちづくり等を積極的に推進する中、社会保障関係経費の増加や、新型コロナウイルス感染症対策、「新しい生活様式」への対応などの新たな行政需要の増、また、「生涯活躍のまち形成事業」といった市政発展のために必要不可欠な事業の進捗により、財政需要の増大が見込まれる。

このような状況を踏まえ、令和3年度の予算編成にあたっては、「第2期 旭市総合戦略」に掲げる4つの基本目標の実現に向け、関連する諸施策を着実に実施することを基本とし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を行いながら、本市の更なる発展を目指して、下記の事業に取り組むものとする。

### 記

#### 「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

##### （1）魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農業経営の生産基盤の強化を支援するための農業基盤整備事業、園芸生産強化支援事業、水田農業構造改革推進事業、家畜防疫対策事業等。

活力ある商業活動を支援する商業活性化推進事業。

新たな観光資源を創出し、全国に発信を行う観光資源創出プロモーション事業、観光振興や地域活性化を目指した観光イベントへの助成等。

(2) 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

結婚から妊娠、出産、育児と切れ目のない支援のための出産祝金支給事業(第二子以降からの支給)、子ども医療費助成事業(高校3年生まで)、乳幼児紙おむつ給付事業、子育て世代包括支援事業、共働き家庭等を支援する放課後児童クラブ運営事業等。適切な教育・保育サービスの充実を図るための保育士処遇改善事業、子育てのための施設等利用給付事業等。

市民一人ひとりの健康を守るための感染症予防対策事業、各種検診事業。

障害者の自立を支援するための自立支援給付事業等。

学校教育の充実を図るための教育の情報化推進事業や、安全・快適な教育環境の充実を図る小・中学校施設改修事業等。

文化意識の高揚と豊かな心を育むための文化振興事業等。

良好なスポーツ環境の充実を図るサッカー場整備事業等。

(3) ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

旭市への移住・定住を促進し、地域の活性化を図るための生涯活躍のまち形成事業、定住促進奨励金交付事業等。

スポーツを通じた国際交流を図るための東京オリンピック事前キャンプ地誘致等事業等。

産業振興や地域振興を促進するための飯岡海上連絡道三川蛇園線をはじめとした主要な幹線市道の整備事業等。生活環境の向上に寄与する道路新設改良事業、道路維持補修事業、冠水対策排水整備事業等。

市民生活の向上及び住宅関連業種の振興を図る住宅用省エネルギー設備設置助成事業、住宅リフォーム補助事業等。

公共交通網としてのコミュニティバス等運行事業、デマンド交通運行事業等。

(4) 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

災害に強い地域づくりのための防災体制強化事業、急傾斜地崩壊対策事業等。

復興イベントの開催や支援を行う「がんばろう！旭」復興支援事業。

災害時の備蓄品の確保や防災備蓄倉庫の整備などを行う防災対策整備事業、消防・防災対策としての消防車両整備等。

市民サービスの向上と、業務の効率化を図るための各種証明書のコンビニ交付。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための地域密着型介護サービス拠点等整備事業、緊急通報体制等整備事業等。

## 予 算 の 規 模

(単位:千円)

年 度 会 計 名		令和3年度 当初予算 ①	令和2年度 当初予算 ②	比 較 増 減		
				増 減 額 ① - ② ③	増 減 率 ③ / ②	
一 般 会 計		29,890,000	37,940,000	△ 8,050,000	△ 21.2 %	
特別会計	病院事業債管理	2,794,000	4,016,000	△ 1,222,000	△ 30.4 %	
	国民健康保険事業 (事業勘定)	8,480,000	8,578,000	△ 98,000	△ 1.1 %	
	国民健康保険事業 (施設勘定)	84,000	83,000	1,000	1.2 %	
	後期高齢者医療	748,000	701,000	47,000	6.7 %	
	介護保険事業	5,309,000	5,245,000	64,000	1.2 %	
小 計		17,415,000	18,623,000	△ 1,208,000	△ 6.5 %	
企業会計	水 道 事 業	(収)	1,448,270	1,479,162	△ 30,892	△ 2.1 %
		(資)	191,080	235,357	△ 44,277	△ 18.8 %
		計	1,639,350	1,714,519	△ 75,169	△ 4.4 %
	公 共 下 水 道 業 事 業	(収)	546,959	564,569	△ 17,610	△ 3.1 %
		(資)	278,933	267,614	11,319	4.2 %
		計	825,892	832,183	△ 6,291	△ 0.8 %
	農 業 集 落 排 水 業 事 業	(収)	68,410	74,595	△ 6,185	△ 8.3 %
		(資)	18,328	16,321	2,007	12.3 %
		計	86,738	90,916	△ 4,178	△ 4.6 %
	小 計		2,551,980	2,637,618	△ 85,638	△ 3.2 %
合 計		49,856,980	59,200,618	△ 9,343,638	△ 15.8 %	

※ 企業会計欄における(収)は収益的支出、(資)は資本的支出である。

## 令和3年度 旭市一般会計予算の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	29,890,000千円
令和2年度当初予算額	37,940,000千円
比 較	△8,050,000千円(21.2%減)

### 2. 歳 入

- (1) 市税は、7,165,779千円で、対前年度△297,082千円、4.0%の減で計上した。  
市民税は、令和2年度決算見込の増減傾向から、個人分、法人分ともに減と見込んだ。固定資産税は、土地で増を見込み、市税全体では新型コロナウイルス感染症による影響等から減と見込んだ。なお、都市計画税については、都市計画事業等の財源に、入湯税については観光・消防施設等の整備及び観光振興に要する費用の財源に充てる。
- (2) 地方消費税交付金は、1,480,000千円で、対前年度29,000千円、2.0%の増で計上した。  
なお、平成26年度に実施された5%から8%への税率引き上げ、及び令和元年度に実施された10%への税率引き上げによる地方消費税増収分については、全額社会保障経費の財源に充てる。
- (3) 地方特例交付金は、154,000千円で、対前年度96,000千円、165.5%の増で計上した。  
従来からの住宅ローン減税分に加え、令和2年9月末までであった環境性能割の臨時的軽減分の延長により68,000千円、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金で86,000千円を計上した。
- (4) 地方交付税は、8,420,000千円で、対前年度△4,060,000千円、32.5%の減で計上した。  
普通交付税は、7,370,000千円で、地域デジタル社会推進費の新設、合併特例債の借入金償還額の増額による公債費算入分の増などがあるものの、合併算定替終了による減などから、対前年度△310,000千円、4.0%の減で計上した。  
特別交付税は、1,050,000千円で、広域ごみ処理施設整備終了に伴う、負担金に対する震災復興特別分の減などから、対前年度△3,750,000千円、78.1%の減で計上した。
- (5) 分担金及び負担金は、366,235千円で、対前年度28,470千円、8.4%の増で計上した。  
主なものは、広域ごみ処理施設への移行に伴う収集運搬費用の増額分に対する廃棄物収集運搬費用負担金43,380千円を計上した。
- (6) 使用料及び手数料は、375,844千円で、対前年度△137,947千円、26.8%の減で計上した。  
主なものは、公立保育施設保育料68,383千円、塵芥処理手数料について広域ごみ処理施設への移行に伴う減を見込み、122,970千円を計上した。
- (7) 国庫支出金は、3,248,469千円で、対前年度44,411千円、1.4%の増で計上した。  
主なものは、障害者自立支援給付費等負担金637,256千円、児童手当負担金633,830千円、生活保護費負担金509,551千円、子どものための教育・保育給付交付金482,178千円、社会資本整備総合交付金318,000千円を計上した。
- (8) 県支出金は、1,837,142千円で、対前年度△282,869千円、13.3%の減で計上した。  
主なものは、障害者自立支援給付費等負担金318,628千円、子どものための教育・保育給付費負担金226,030千円、保険基盤安定負担金225,743千円を計上した。
- (9) 繰入金は、1,124,393千円で、対前年度△991,755千円、46.9%の減で計上した。  
主なものは、地域振興基金繰入金601,211千円、財政調整基金繰入金354,000千円、ふるさと応援基金繰入金83,990千円を計上した。
- (10) 市債は、3,502,100千円で、対前年度△2,744,200千円、43.9%の減で計上した。  
主なものは、合併特例債が6事業で1,293,400千円、臨時財政対策債1,180,000千円、公共施設等適正管理推進事業債が7事業で558,900千円を計上した。

一般会計

《 歳 入 》

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 市 税	7,165,779	24.0 %	7,462,861	19.7 %	△ 297,082	△ 4.0 %
2 地 方 譲 与 税	317,000	1.1 %	355,000	0.9 %	△ 38,000	△ 10.7 %
3 利 子 割 交 付 金	5,000	0.0 %	4,000	0.0 %	1,000	25.0 %
4 配 当 割 交 付 金	36,000	0.1 %	37,000	0.1 %	△ 1,000	△ 2.7 %
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	26,000	0.1 %	24,000	0.1 %	2,000	8.3 %
6 法 人 事 業 税 交 付 金	60,000	0.2 %	40,000	0.1 %	20,000	50.0 %
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,480,000	4.9 %	1,451,000	3.8 %	29,000	2.0 %
8 環 境 性 能 割 交 付 金	50,000	0.2 %	56,000	0.1 %	△ 6,000	△ 10.7 %
9 地 方 特 例 交 付 金	154,000	0.5 %	58,000	0.2 %	96,000	165.5 %
10 地 方 交 付 税	8,420,000	28.2 %	12,480,000	32.9 %	△ 4,060,000	△ 32.5 %
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	9,000	0.0 %	8,000	0.0 %	1,000	12.5 %
12 分 担 金 及 び 負 担 金	366,235	1.2 %	337,765	0.9 %	28,470	8.4 %
13 使 用 料 及 び 手 数 料	375,844	1.3 %	513,791	1.3 %	△ 137,947	△ 26.8 %
14 国 庫 支 出 金	3,248,469	10.9 %	3,204,058	8.4 %	44,411	1.4 %
15 県 支 出 金	1,837,142	6.1 %	2,120,011	5.6 %	△ 282,869	△ 13.3 %
16 財 産 収 入	50,566	0.2 %	46,724	0.1 %	3,842	8.2 %
17 寄 附 金	71,000	0.2 %	61,000	0.2 %	10,000	16.4 %
18 繰 入 金	1,124,393	3.8 %	2,116,148	5.6 %	△ 991,755	△ 46.9 %
19 繰 越 金	600,000	2.0 %	400,000	1.1 %	200,000	50.0 %
20 諸 収 入	991,472	3.3 %	918,342	2.4 %	73,130	8.0 %
21 市 債	3,502,100	11.7 %	6,246,300	16.5 %	△ 2,744,200	△ 43.9 %
合 計	29,890,000	100.0 %	37,940,000	100.0 %	△ 8,050,000	△ 21.2 %
一 般 財 源	19,931,026	66.7 %	23,393,349	61.7 %	△ 3,462,323	△ 14.8 %
特 定 財 源	9,958,974	33.3 %	14,546,651	38.3 %	△ 4,587,677	△ 31.5 %
自 主 財 源	10,745,289	35.9 %	11,856,631	31.3 %	△ 1,111,342	△ 9.4 %
依 存 財 源	19,144,711	64.1 %	26,083,369	68.7 %	△ 6,938,658	△ 26.6 %

### 3. 歳 出

- (1) 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、14,671,279千円で、対前年度340,606千円、2.4%の増で計上した。

人件費は、「定員適正化計画」に基づく職員数の削減や、会計年度任用職員の減はあったものの、選挙関係経費の増などにより、対前年53,560千円、0.9%の増で計上した。

扶助費は、障害児通所支援事業の増などにより、対前年度100,944千円、1.9%の増で計上した。

公債費は、償還元金の増により、対前年度186,102千円、6.1%の増で計上した。

- (2) 投資的経費は、4,186,321千円で、対前年度△2,911,223千円、41.0%の減で計上した。

主なものとして、合併特例事業では、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業、冠水対策排水整備事業、サッカー場整備事業などを計上した。

公共施設適正管理事業では、道路維持補修事業、社会教育施設再編事業などを計上した。

総務費では、生涯活躍のまち形成事業において多世代交流施設整備費負担金などを計上した。

土木費では、新規事業として蛇園南地区排水路整備事業を計上し、継続事業として道路新設改良事業、震災復興・津波避難道路整備事業などを計上した。

消防費では、防災行政無線等整備事業などを計上した。

教育費では、小学校施設改修事業などを計上した。

- (3) 物件費は、3,641,265千円で、対前年度△290,981千円、7.4%の減で計上した。

主なものとして、旧庁舎の解体等に要する経費などを計上した。

- (4) 補助費等は、4,487,024千円で、対前年度△5,234,351千円、53.8%の減で計上した。

主なものとして、環境衛生事務費に計上した東総地区広域市町村圏事務組合負担金（広域ごみ処理施設運営費及び建設費）分などを計上した。

- (5) 投資及び出資金は、178,328千円で、対前年度13,066千円、7.9%の増で計上した。

公共下水道事業会計及び農業集落排水事業会計への出資金を計上した。

- (6) 積立金は、120,293千円で、対前年度10,283千円、9.3%の増で計上した。

主なものとして、ふるさと応援基金積立金を計上した。

- (7) 繰出金は、2,262,051千円で、対前年度22,333千円、1.0%の増で計上した。

主なものとして、国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計への繰出金や、後期高齢者医療広域連合に対する負担金を計上した。

一般会計

《 歳 出 》 性質別

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 人 件 費	5,967,732	20.0 %	5,914,172	15.6 %	53,560	0.9 %
2 物 件 費	3,641,265	12.2 %	3,932,246	10.4 %	△ 290,981	△ 7.4 %
3 維 持 補 修 費	184,639	0.6 %	184,372	0.5 %	267	0.1 %
4 扶 助 費	5,453,184	18.2 %	5,352,240	14.1 %	100,944	1.9 %
5 補 助 費 等	4,487,024	15.0 %	9,721,375	25.6 %	△ 5,234,351	△ 53.8 %
6 普 通 建 設 事 業 費	4,186,314	14.0 %	7,097,537	18.7 %	△ 2,911,223	△ 41.0 %
(イ) 補 助	1,012,972	3.4 %	1,216,339	3.2 %	△ 203,367	△ 16.7 %
(ロ) 単 独	3,090,287	10.3 %	5,780,255	15.2 %	△ 2,689,968	△ 46.5 %
(ハ) 県営事業負担金等	83,055	0.3 %	100,943	0.3 %	△ 17,888	△ 17.7 %
7 災 害 復 旧 費	7	0.0 %	7	0.0 %	0	0.0 %
8 公 債 費	3,250,363	10.9 %	3,064,261	8.1 %	186,102	6.1 %
9 積 立 金	120,293	0.4 %	110,010	0.3 %	10,283	9.3 %
10 投 資 及 び 出 資 金	178,328	0.6 %	165,262	0.4 %	13,066	7.9 %
11 貸 付 金	108,800	0.3 %	108,800	0.3 %	0	0.0 %
12 繰 出 金	2,262,051	7.6 %	2,239,718	5.9 %	22,333	1.0 %
13 予 備 費	50,000	0.2 %	50,000	0.1 %	0	0.0 %
合 計	29,890,000	100.0 %	37,940,000	100.0 %	△ 8,050,000	△ 21.2 %
義務的経費 1+4+8	14,671,279	49.1 %	14,330,673	37.8 %	340,606	2.4 %
投資的経費 6 + 7	4,186,321	14.0 %	7,097,544	18.7 %	△ 2,911,223	△ 41.0 %

一般会計

《 歳 出 》 目的別

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	204,351	0.7 %	203,306	0.5 %	1,045	0.5 %
2 総 務 費	4,031,181	13.5 %	7,715,901	20.3 %	△ 3,684,720	△ 47.8 %
3 民 生 費	9,423,801	31.5 %	9,467,520	25.0 %	△ 43,719	△ 0.5 %
4 衛 生 費	4,006,432	13.4 %	8,820,668	23.3 %	△ 4,814,236	△ 54.6 %
5 労 働 費	1,869	0.0 %	1,781	0.0 %	88	4.9 %
6 農 林 水 産 業 費	901,386	3.0 %	917,057	2.4 %	△ 15,671	△ 1.7 %
7 商 工 費	445,542	1.5 %	395,220	1.0 %	50,322	12.7 %
8 土 木 費	3,376,890	11.3 %	3,540,327	9.3 %	△ 163,437	△ 4.6 %
9 消 防 費	1,167,039	3.9 %	1,261,427	3.3 %	△ 94,388	△ 7.5 %
10 教 育 費	2,951,366	9.9 %	2,409,973	6.4 %	541,393	22.5 %
11 災 害 復 旧 費	7	0.0 %	7	0.0 %	0	0.0 %
12 公 債 費	3,250,363	10.9 %	3,064,261	8.1 %	186,102	6.1 %
13 諸 支 出 金	79,773	0.2 %	92,552	0.3 %	△ 12,779	△ 13.8 %
14 予 備 費	50,000	0.2 %	50,000	0.1 %	0	0.0 %
合 計	29,890,000	100.0 %	37,940,000	100.0 %	△ 8,050,000	△ 21.2 %

令和3年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡大事業	総合戦略※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫 支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
総務	1	「がんばろう！旭」復興支援事業	4	7,070				7,070	
	2	ふるさと応援寄附推進事業	3	34,724					34,724
	3	生涯活躍のまち形成事業	◎	571,264	43,019			473,682	54,563
	4	定住促進奨励金交付事業	3	32,600				32,600	
	5	デマンド交通運行事業	4	18,890					18,890
	6	消防車両整備事業	4	58,766			56,300		2,466

※旭市総合戦略基本目標

1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり
  2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり
  3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
  4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり
- ◎. 1～4全ての基本目標に関連する事業

令和3年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡大事業	総合戦略 ※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫 支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
文教福祉	7	環境衛生事務費	3	533,127				3	533,124
	8	住宅用省エネルギー設備 設置助成事業	3	11,100		7,950			3,150
	9	塵芥処理施設運営費	3	238,447	495			166,350	71,602
	10	(拡) 感染症予防対策事業	2	162,661	5,402	30			157,229
	11	(拡) 子育て世代包括支援事業	2	9,073	2,996	2,028		1,000	3,049
	12	(拡) 妊婦・乳幼児健康診査事業	2	56,401					56,401
	13	自立支援給付事業	2	1,345,502	671,689	335,844		200	337,769
	14	子ども医療費助成事業	2	235,958		69,557			166,401
	15	出産祝金支給事業	2	31,200					31,200
	16	乳幼児紙おむつ給付事業	2	29,737					29,737
	17	(拡) 放課後児童クラブ運営事業	2	147,764	34,626	34,626		43,888	34,624
	18	教育の情報化推進事業	2	82,817					82,817
	19	文化振興事業	2	25,875				14,020	11,855
	20	社会教育施設再編事業	2	238,837			203,700		35,137
21	東京オリンピック事前 キャンプ地誘致等事業	3	26,372				26,372		
22	サッカー場整備事業	2	408,952			342,900	60,106	5,946	

令和3年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡大事業	総合戦略 ※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫 支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
建設 経済	23	商業活性化推進事業	1	75,458				7,200	68,258
	24	観光資源創出プロモーション事業	1	9,674				9,674	
	25	観光イベント事業	1	25,005				18,200	6,805
	26	(拡) 新規就農総合支援事業	1	18,630		11,250		6,700	680
	27	水田農業構造改革推進事業	1	95,000		19,685			75,315
	28	園芸生産強化支援事業	1	128,768		108,847			19,921
	29	家畜防疫対策事業	1	56,721					56,721
	30	(拡) 畜産環境フレッシュ事業	1	8,920					8,920
	31	農業基盤整備事業	1	62,264			55,500		6,764
	32	(拡) 有害鳥獣駆除事業	1	4,891		292			4,599
	33	急傾斜地崩壊対策事業	4	28,704			28,600		104
	34	道路新設改良事業	3	330,222			20,300		309,922
	35	冠水対策排水整備事業	3	226,880			218,700		8,180
	36	(新) 蛇園南地区排水路整備事業	3	124,360			124,300		60
	37	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	3	683,475	175,000		479,700		28,775
	38	南堀之内バイパス整備事業	3	212,300	88,000		118,000		6,300
	39	震災復興・津波避難道路整備事業	4	345,980	55,000		132,200	30,000	128,780
40	住宅リフォーム補助事業	3	20,000	9,000				11,000	

## 令和3年度 旭市病院事業債管理特別会計予算の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	2,794,000千円
令和2年度当初予算額	4,016,000千円
比 較	△1,222,000千円(30.4%減)

令和3年度予算として、歳入は、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院からの貸付金元利収入として2,144,000千円、市債650,000千円を計上し、歳出は、法人への貸付金として650,000千円、公債費として2,144,000千円を計上した。

### 2. 歳 入

- (1) 諸収入は、貸付金元利収入として2,144,000千円で計上した。
- (2) 市債は、病院事業債として650,000千円で計上した。

#### 【起債対象経費内訳】

##### 医療機器整備分

・MRI装置1式、CT装置1式、その他5種類9式 650,000千円

### 3. 歳 出

- (1) 事業費は、貸付金として650,000千円で計上した。
- (2) 公債費は、2,144,000千円で計上した。

内訳は、借入金償還費として1,805,167千円、借入金利子支払費として338,833千円を計上した。

令和3年度 旭市病院事業債管理特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 諸 収 入	2,144,000	76.7 %	2,155,000	53.7 %	△ 11,000	△ 0.5 %
2 市 債	650,000	23.3 %	1,861,000	46.3 %	△ 1,211,000	△ 65.1 %
合 計	2,794,000	100.0 %	4,016,000	100.0 %	△ 1,222,000	△ 30.4 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 事 業 費	650,000	23.3 %	1,861,000	46.3 %	△ 1,211,000	△ 65.1 %
2 公 債 費	2,144,000	76.7 %	2,155,000	53.7 %	△ 11,000	△ 0.5 %
合 計	2,794,000	100.0 %	4,016,000	100.0 %	△ 1,222,000	△ 30.4 %

## 令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（事業勘定）の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	8,480,000千円
令和2年度当初予算額	8,578,000千円
比 較	△98,000千円（1.1%減）

歳入は、令和2年に流行した新型コロナウイルス感染症によって日本経済全体が停滞したこと及び減少し続けている被保険者数を反映し、大幅な税収減を見込んでいる。なお、不足する財源には、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出では、県が推計した保険給付費及び保険事業費納付金が微減であったこと、及び保健事業費のうち後期高齢者医療制度分を会計移行したことなどにより、概ね前年度並みで予算編成した。

なお、県は令和3年度の被保険者数を18,749人、一人当たり医療費を266,553円と見込んでいる。

### 2. 歳 入

- (1) 国民健康保険税は、1,733,802千円で、対前年度△150,580千円、8.0%の減を見込んだ。
- (2) 国庫支出金は、3,577千円で、国民健康保険制度関係業務事業費補助金3,575千円などを見込んだ。
- (3) 県支出金は、5,948,199千円で、対前年度△54,901千円、0.9%の減となった。  
内訳は、保険給付費等普通交付金に5,810,155千円、保険給付費等特別交付金に138,044千円となった。
- (4) 繰入金は、767,875千円で、対前年度156,977千円、25.7%の増となった。  
内訳は、一般会計繰入金に487,875千円、財政調整基金繰入金に280,000千円となった。  
一般会計繰入金の主なものは、保険基盤安定繰入金398,947千円、出産育児一時金等繰入金19,600千円、財政安定化支援事業繰入金19,699千円などである。
- (5) その他の歳入区分は、合計26,547千円で、主なものは国保税の延滞金や第三者納付金などである。

### 3. 歳 出

- (1) 総務費は、49,629千円で、対前年度△1,982千円、3.8%の減を見込んだ。
- (2) 保険給付費は、5,850,570千円で、対前年度△45,919千円、0.8%の減となった。
- (3) 保険事業費納付金は、2,421,686千円で、対前年度△19,427千円、0.8%の減となった。  
県の決定額は、医療給付費分が1,524,718千円、後期高齢者支援金分が594,596千円、介護分が302,372千円となった。  
※医療給付費分は県全体保険給付費見込、後期高齢者支援金分・介護分は国が定める千葉県全体の負担金を、各市町村の国保人口・所得水準に応じて分配し納付金としたもの。
- (4) 保健事業費は、83,745千円で、対前年度△41,753千円、33.3%の減を見込んだ。
- (5) 基金積立金は、250千円を見込んだ。
- (6) 公債費は、1千円で、諸支出金44,119千円、予備費30,000千円である。

令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(事業勘定)

1. 歳入

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 国民健康保険税	1,733,802	20.5 %	1,884,382	22.0 %	△ 150,580	△ 8.0 %
2 一部負担金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
3 使用料及び手数料	1	0.0 %	10	0.0 %	△ 9	△ 90.0 %
4 国庫支出金	3,577	0.0 %	7,086	0.1 %	△ 3,509	△ 49.5 %
5 県支出金	5,948,199	70.1 %	6,003,100	70.0 %	△ 54,901	△ 0.9 %
6 財産収入	250	0.0 %	210	0.0 %	40	19.0 %
7 繰入金	767,875	9.1 %	610,898	7.1 %	156,977	25.7 %
8 繰越金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
9 諸収入	26,294	0.3 %	72,312	0.8 %	△ 46,018	△ 63.6 %
合 計	8,480,000	100.0 %	8,578,000	100.0 %	△ 98,000	△ 1.1 %

2. 歳出

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	49,629	0.6 %	51,611	0.6 %	△ 1,982	△ 3.8 %
2 保険給付費	5,850,570	69.0 %	5,896,489	68.7 %	△ 45,919	△ 0.8 %
3 保険事業費納付金	2,421,686	28.6 %	2,441,113	28.5 %	△ 19,427	△ 0.8 %
4 保健事業費	83,745	1.0 %	125,498	1.5 %	△ 41,753	△ 33.3 %
5 基金積立金	250	0.0 %	210	0.0 %	40	19.0 %
6 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
7 諸支出金	44,119	0.5 %	33,078	0.4 %	11,041	33.4 %
8 予備費	30,000	0.3 %	30,000	0.3 %	0	0.0 %
合 計	8,480,000	100.0 %	8,578,000	100.0 %	△ 98,000	△ 1.1 %

## 令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	84,000千円
令和2年度当初予算額	83,000千円
比 較	1,000千円（1.2%増）

令和2年に流行した新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）は、令和3年度においても流行し続けると見込み、その影響を加味した予算編成となっている。

歳入は、診療所でのクラスター発生回避のための人数制限や、外出自粛・マスクや手洗い習慣の浸透によるコロナ以外の感染症患者などの受診率の低下を見込み、それに伴って診療収入も減少すると見込んだ。なお、不足する財源は、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出は、コロナ流行下でも安定した医療を提供するため、人件費やシステム整備費の増加を見込んだ。増加の主な理由は、看護師の確保や待遇改善を図ること、及びマイナンバーを利用した保険証資格確認システムを導入することである。

なお、令和3年度は患者数を5,529人、一人当たりの診療収入を11,004円と見込んでいる。

### 2. 歳 入

- 診療収入は、60,846千円で、対前年度△10,297千円、14.5%の減を見込んだ。  
内訳は、外来収入に55,508千円、その他の診療収入に5,338千円を計上した。
- 使用料及び手数料は、59千円、財産収入は、21千円を計上した。
- 繰入金は、21,400千円で、対前年度12,000千円、127.7%の増を見込んだ。  
内訳は、一般会計繰入金に7,100千円、事業勘定繰入金に300千円、財政調整基金繰入金に14,000千円を計上した。
- 繰越金は、令和2年度決算見込から1,154千円を計上した。
- 諸収入は、介護保険意見書料等で520千円を計上した。

### 3. 歳 出

- 総務費は、49,721千円で、対前年度3,314千円、7.1%の増を見込んだ。  
内訳は、診療所関係職員給与費に34,815千円、診療所総務事務費に13,245千円、診療所施設管理費に1,519千円、研究研修費に142千円を計上した。
- 医業費は、32,257千円で、対前年度△2,314千円、6.7%の減を見込んだ。  
内訳は、医療用機械器具費に1,536千円、医療用消耗器材費に721千円、医薬品衛生材料費に30,000千円を計上した。
- その他の支出は、基金積立金に20千円、公債費及び諸支出金にそれぞれ1千円、予備費に2,000千円を計上した。

令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(施設勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 診療収入	60,846	72.4 %	71,143	85.7 %	△ 10,297	△ 14.5 %
2 使用料及び手数料	59	0.1 %	136	0.2 %	△ 77	△ 56.6 %
3 財産収入	21	0.0 %	21	0.0 %	0	0.0 %
4 繰入金	21,400	25.5 %	9,400	11.3 %	12,000	127.7 %
5 繰越金	1,154	1.4 %	1,968	2.4 %	△ 814	△ 41.4 %
6 諸収入	520	0.6 %	332	0.4 %	188	56.6 %
合 計	84,000	100.0 %	83,000	100.0 %	1,000	1.2 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	49,721	59.2 %	46,407	55.9 %	3,314	7.1 %
2 医療費	32,257	38.4 %	34,571	41.7 %	△ 2,314	△ 6.7 %
3 基金積立金	20	0.0 %	20	0.0 %	0	0.0 %
4 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
5 諸支出金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
6 予備費	2,000	2.4 %	2,000	2.4 %	0	0.0 %
合 計	84,000	100.0 %	83,000	100.0 %	1,000	1.2 %

## 令和3年度 旭市後期高齢者医療特別会計予算の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	748,000千円
令和2年度当初予算額	701,000千円
比較	47,000千円(6.7%増)

後期高齢者医療特別会計は、保険料及び市の繰入金等で運用しているものであり、収納した保険料等を千葉県後期高齢者医療広域連合に納付する広域連合納付金が歳出中の92.5%を占めている。

後期高齢者医療被保険者の健康診査事業を、国民健康保険事業特別会計より会計移行し予算編成した。

平均被保険者数については、本年度中180人増で、9,877人を見込んだ。

### 2. 歳入

- (1) 保険料は、522,168千円で、対前年度12,823千円、2.5%の増を見込んだ。  
内訳は、現年度分特別徴収保険料に360,545千円、現年度分普通徴収保険料に160,207千円、滞納繰越分普通徴収保険料に1,416千円を計上した。保険料率は、均等割額が43,400円、所得割率が8.39%で、保険料の賦課限度額は640千円である。
- (2) 繰入金は、191,966千円で、対前年度8,339千円、4.5%の増を見込んだ。  
内訳は、一般会計からの事務費繰入金に21,997千円、保険基盤安定繰入金に169,969千円を計上した。
- (3) 繰越金は、前年度と同額で、5,000千円を計上した。
- (4) 諸収入は、28,866千円で、対前年度25,838千円、853.3%の増を見込んだ。

### 3. 歳出

- (1) 総務費は、23,399千円で、対前年度1,742千円、8.0%の増を見込んだ。  
内訳は、総務管理費として20,751千円、徴収費として2,648千円を計上した。
- (2) 広域連合納付金は、692,137千円で、対前年度19,489千円、2.9%の増を見込んだ。  
内訳は、保険基盤安定拠出金に169,969千円、保険料納付金に522,168千円を計上した。
- (3) 健康診査事業は、国民健康保険事業特別会計より移行し25,467千円を計上した。
- (4) 諸支出金は1,997千円、予備費は5,000千円で計上した。

## 令和3年度 旭市後期高齢者医療特別会計予算

### 1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 保 険 料	522,168	69.8 %	509,345	72.7 %	12,823	2.5 %
2 繰 入 金	191,966	25.7 %	183,627	26.2 %	8,339	4.5 %
3 繰 越 金	5,000	0.7 %	5,000	0.7 %	0	0.0 %
4 諸 収 入	28,866	3.8 %	3,028	0.4 %	25,838	853.3 %
合 計	748,000	100.0 %	701,000	100.0 %	47,000	6.7 %

### 2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総 務 費	23,399	3.1 %	21,657	3.1 %	1,742	8.0 %
2 広域連合納付金	692,137	92.5 %	672,648	96.0 %	19,489	2.9 %
3 健康診査事業	25,467	3.4 %	-	-	25,467	皆増
4 諸 支 出 金	1,997	0.3 %	1,695	0.2 %	302	17.8 %
5 予 備 費	5,000	0.7 %	5,000	0.7 %	0	0.0 %
合 計	748,000	100.0 %	701,000	100.0 %	47,000	6.7 %

## 令和3年度 旭市介護保険事業特別会計予算の概要

### 1. 予算規模

令和3年度当初予算額	5,309,000千円
令和2年度当初予算額	5,245,000千円
比 較	64,000千円（1.2%増）

保険給付費については、公費負担50%、保険料負担50%で賄うこととなっており、公費負担50%の内訳は、国25%（施設等15%）、県12.5%（施設等17.5%）、市12.5%で、保険料負担50%の内訳は、第1号被保険者保険料23%、第2号被保険者保険料（支払基金交付金）27%である。

歳出の93.0%を占める保険給付費については、対前年度1.1%の増を見込んだ。要介護・要支援状態となることを予防するための地域支援事業費については、4.2%の増を見込んだ。

### 2. 歳 入

- （1） 保険料は、基準額64,800円、賦課人数20,022人、条例で定める所得段階に応じた11段階により設定し、1,209,289千円、対前年度45,465千円、3.9%の増を見込んだ。
- （2） 国庫支出金は、1,149,483千円で、対前年度△7,153千円、0.6%の減を見込んだ。  
内訳は、介護給付費負担金に875,745千円、調整交付金に173,707千円、地域支援事業交付金に88,107千円、保険者機能強化推進交付金に6,213千円、保険者努力支援交付金5,711千円を計上した。
- （3） 支払基金交付金は、1,372,665千円で、対前年度8,758千円、0.6%の増を見込んだ。  
内訳は、介護給付費交付金に1,333,468千円、地域支援事業支援交付金に39,197千円を計上した。
- （4） 県支出金は、773,410千円で、対前年度13,448千円、1.8%の増を見込んだ。  
内訳は、介護給付費負担金に729,357千円、地域支援事業交付金に44,053千円を計上した。
- （5） 繰入金は、796,871千円で、対前年度9,772千円、1.2%の増を見込んだ。  
内訳は、一般会計から、介護給付費に617,347千円、地域支援事業に46,468千円、介護保険事務費に69,554千円、低所得者保険料軽減繰入金に63,501千円を計上した。
- （6） その他の収入は、財産収入に33千円、諸収入に7,248千円を計上した。

### 3. 歳 出

- （1） 総務費は、介護保険関係事務費、介護認定審査会等経費、介護保険料賦課徴収等経費として、69,554千円、対前年度△3,189千円、4.4%の減を見込んだ。
- （2） 保険給付費は、4,938,775千円で、対前年度55,558千円、1.1%の増を見込んだ。  
内訳は、介護サービス等諸費に4,540,983千円、介護予防サービス等諸費に54,947千円、その他諸費に3,666千円、高額介護サービス等費に109,992千円、高額医療合算介護サービス等費に9,170千円、特定入所者介護サービス等費に220,017千円を計上した。
- （3） 地域支援事業費は、289,413千円、対前年度11,592千円、4.2%の増を見込んだ。  
内訳は、介護予防・生活支援サービス事業費に144,162千円、一般介護予防事業費に494千円、包括的支援事業費に114,958千円、任意事業費に29,282千円、その他諸費に517千円を計上した。
- （4） その他の支出は、基金積立金に33千円、諸支出金に1,224千円、予備費に10,000千円を計上した。

令和3年度 旭市介護保険事業特別会計予算

1. 歳入

(単位:千円)

区分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 保険料	1,209,289	22.8 %	1,163,824	22.2 %	45,465	3.9 %
2 国庫支出金	1,149,483	21.6 %	1,156,636	22.0 %	△ 7,153	△ 0.6 %
3 支払基金交付金	1,372,665	25.9 %	1,363,907	26.0 %	8,758	0.6 %
4 県支出金	773,410	14.6 %	759,962	14.5 %	13,448	1.8 %
5 財産収入	33	0.0 %	33	0.0 %	0	0.0 %
6 繰入金	796,871	15.0 %	787,099	15.0 %	9,772	1.2 %
7 繰越金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
8 諸収入	7,248	0.1 %	13,538	0.3 %	△ 6,290	△ 46.5 %
合計	5,309,000	100.0 %	5,245,000	100.0 %	64,000	1.2 %

2. 歳出

(単位:千円)

区分	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	69,554	1.3 %	72,743	1.4 %	△ 3,189	△ 4.4 %
2 保険給付費	4,938,775	93.0 %	4,883,217	93.1 %	55,558	1.1 %
3 財政安定化基金拠出金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
4 基金積立金	33	0.0 %	33	0.0 %	0	0.0 %
5 地域支援事業費	289,413	5.5 %	277,821	5.3 %	11,592	4.2 %
6 諸支出金	1,224	0.0 %	1,185	0.0 %	39	3.3 %
7 予備費	10,000	0.2 %	10,000	0.2 %	0	0.0 %
合計	5,309,000	100.0 %	5,245,000	100.0 %	64,000	1.2 %

## 令和3年度 旭市水道事業会計予算の概要

### 1. 業務の予定量

#### (1) 給水件数

年度中の給水増加件数を180件見込み、年度末の給水件数を21,190件(対前年度比0.6%増)と予定した。

#### (2) 年間給水量

年間給水量を6,324,001 m<sup>3</sup>(1日平均給水量17,326 m<sup>3</sup>、対前年度比1.9%増)と予定した。

### 2. 収益的収入及び支出

水道事業収益を1,659,699千円(対前年度比0.4%減)、水道事業費用を1,448,270千円(対前年度比2.1%減)と予定した。

収益的収支差引は、211,429千円(消費税抜きで202,780千円)の予定。

#### (1) 水道事業収益の主なもの

- ・給水収益(水道料金収入)は、年間有収水量を5,818,082 m<sup>3</sup>と想定し、1,439,975千円(対前年度比0.1%減)を予定した。
- ・他会計補助金は、高料金対策に要する経費及び企業職員の児童手当に要する経費として一般会計から79,763千円を予定した。

#### (2) 水道事業費用の主なもの

- ・原水及び浄水費(受水費)は、年間受水量を6,324,001 m<sup>3</sup>と想定し、831,005千円(対前年度比0.7%増)を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を236,213千円、企業債に係る支払利息を9,115千円と予定した。

### 3. 資本的収入及び支出

資本的収入を38,333千円(対前年度比60.9%減)、資本的支出を191,080千円(対前年度比18.8%減)と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額152,747千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

#### (1) 資本的収入の主なもの

- ・負担金は15,384千円で、消火栓設置に係る一般会計からの負担金、負担要綱に基づく配水管布設工事申請者負担金、海匠土木事務所関連の切廻工事負担金を予定した。
- ・水道加入者からの給水申込納付金は、22,949千円を予定した。

#### (2) 資本的支出の主なもの

- ・建設改良費のうち拡張工事費は41,971千円で、主なものとして、不断水仕切弁設置工事、消火栓新規設置工事、道路本復旧工事などを予定した。
- ・改良工事費は、73,513千円で、主なものとして、配水管布設替工事、道路整備事業に伴う水道管切廻し工事などを予定した。
- ・固定資産取得費は11,549千円で、主なものとして旭配水場の圧力計や、海上、飯岡配水場の水位計の更新を予定した。
- ・企業債の償還金は、44,046千円を予定した。

令和3年度旭市水道事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	1,451,147	1,456,843	△ 5,696	△ 0.4 %
(1) 給 水 収 益	1,439,975	1,441,589	△ 1,614	△ 0.1 %
(2) 受 託 工 事 収 益	1	1	0	0.0 %
(3) そ の 他 営 業 収 益	11,171	15,253	△ 4,082	△ 26.8 %
2 営 業 外 収 益	208,552	209,205	△ 653	△ 0.3 %
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	1	1	0	0.0 %
(2) 他 会 計 補 助 金	79,763	80,282	△ 519	△ 0.6 %
(3) 補 助 金	73,071	70,621	2,450	3.5 %
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	55,707	58,291	△ 2,584	△ 4.4 %
(5) 雑 収 益	10	10	0	0.0 %
合 計	1,659,699	1,666,048	△ 6,349	△ 0.4 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	1,391,255	1,426,235	△ 34,980	△ 2.5 %
(1) 原 水 及 び 浄 水 費	831,005	825,148	5,857	0.7 %
(2) 配 水 及 び 給 水 費	227,875	232,290	△ 4,415	△ 1.9 %
(3) 受 託 工 事 費	1	1	0	0.0 %
(4) 総 係 費	91,254	119,424	△ 28,170	△ 23.6 %
(5) 減 価 償 却 費	236,213	242,348	△ 6,135	△ 2.5 %
(6) 資 産 減 耗 費	4,907	7,024	△ 2,117	△ 30.1 %
2 営 業 外 費 用	35,618	31,680	3,938	12.4 %
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	9,115	10,007	△ 892	△ 8.9 %
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	26,502	21,672	4,830	22.3 %
(3) 雑 支 出	1	1	0	0.0 %
3 特 別 損 失	1,397	1,247	150	12.0 %
4 予 備 費	20,000	20,000	0	0.0 %
合 計	1,448,270	1,479,162	△ 30,892	△ 2.1 %

収 益 的 収 支 差 引	211,429	186,886	24,543	13.1 %
---------------	---------	---------	--------	--------

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 企 業 債	0	44,000	△ 44,000	皆減
2 出 資 金	0	12,260	△ 12,260	皆減
3 負 担 金	15,384	11,732	3,652	31.1 %
4 給 水 申 込 納 付 金	22,949	30,126	△ 7,177	△ 23.8 %
合 計	38,333	98,118	△ 59,785	△ 60.9 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 建 設 改 良 費	127,033	171,424	△ 44,391	△ 25.9 %
(1) 拡 張 工 事 費	41,971	85,498	△ 43,527	△ 50.9 %
(2) 改 良 工 事 費	73,513	28,204	45,309	160.6 %
(3) 固 定 資 産 取 得 費	11,549	57,722	△ 46,173	△ 80.0 %
2 企 業 債 償 還 金	44,046	43,932	114	0.3 %
3 そ の 他 資 本 的 支 出	1	1	0	0.0 %
4 予 備 費	20,000	20,000	0	0.0 %
合 計	191,080	235,357	△ 44,277	△ 18.8 %

資 本 的 収 支 差 引	△ 152,747	△ 137,239	△ 15,508	△ 11.3 %
---------------	-----------	-----------	----------	----------

## 令和3年度 旭市公共下水道事業会計予算の概要

### 1. 業務の予定量

#### (1) 供用面積

供用面積を 202ha と予定した。

#### (2) 年間有収水量

年間有収水量を 607,610 m<sup>3</sup> (1日平均有収水量 1,664.7 m<sup>3</sup>、対前年度比 7.2%増) と予定した。

### 2. 収益的収入及び支出

下水道事業収益を 546,959 千円 (対前年度比 3.1%減)、下水道事業費用を 546,959 千円 (対前年度比 3.1%減) と予定した。

#### (1) 下水道事業収益の主なもの

- ・下水道使用料は、110,355 千円 (対前年度比 7.2%増) を予定した。
- ・他会計負担金は、企業債に係る支払利息、企業職員の児童手当に要する経費等として、一般会計から 218,703 千円を予定した。

#### (2) 下水道事業費用の主なもの

- ・処理場費は、浄化センター運転管理業務委託料等として、164,300 千円 (対前年度比 2.3%増) を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を 270,237 千円、企業債に係る支払利息 52,156 千円と予定した。

### 3. 資本的収入及び支出

資本的収入を 234,476 千円 (対前年度比 11.1%増)、資本的支出を 278,933 千円 (対前年度比 4.2%増) と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額 44,457 千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

#### (1) 資本的収入の主なもの

- ・企業債借入額は、73,400 千円で企業債の償還金に充てるための特別措置分 23,400 千円 資本費平準化債 50,000 千円を予定した。
- ・他会計負担金は、企業債に係る元金分として、一般会計からの繰入金を 161,000 千円と予定した。

#### (2) 資本的支出の主なもの

- ・企業債の償還金は、275,933 千円を予定した。

令和3年度旭市公共下水道事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	110,643	103,392	7,251	7.0 %
(1) 下 水 道 使 用 料	110,355	102,984	7,371	7.2 %
(2) そ の 他 営 業 収 益	288	408	△ 120	△ 29.4 %
2 営 業 外 収 益	436,316	461,177	△ 24,861	△ 5.4 %
(1) 他 会 計 負 担 金	218,703	243,703	△ 25,000	△ 10.3 %
(2) 長 期 前 受 金 戻 入	217,612	217,474	138	0.1 %
(3) 雑 収 益	1	0	1	皆増
合 計	546,959	564,569	△ 17,610	△ 3.1 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	484,177	489,705	△ 5,528	△ 1.1 %
(1) 管 渠 費	4,918	12,340	△ 7,422	△ 60.1 %
(2) 処 理 場 費	164,300	160,577	3,723	2.3 %
(3) 総 係 費	44,722	46,910	△ 2,188	△ 4.7 %
(4) 減 価 償 却 費	270,237	269,878	359	0.1 %
2 営 業 外 費 用	59,781	62,907	△ 3,126	△ 5.0 %
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	52,156	57,493	△ 5,337	△ 9.3 %
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	7,625	5,414	2,211	40.8 %
3 特 別 損 失	1	8,957	△ 8,956	△ 100.0 %
4 予 備 費	3,000	3,000	0	0.0 %
合 計	546,959	564,569	△ 17,610	△ 3.1 %

収 益 的 収 支 差 引	0	0	0	0.0 %
---------------	---	---	---	-------

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 企 業 債	73,400	69,600	3,800	5.5 %
2 他 会 計 負 担 金	161,000	141,297	19,703	13.9 %
3 負 担 金 及 び 分 担 金	76	121	△ 45	△ 37.2 %
合 計	234,476	211,018	23,458	11.1 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 建 設 改 良 費	0	1,153	△ 1,153	皆減
2 企 業 債 償 還 金	275,933	266,461	9,472	3.6 %
3 予 備 費	3,000	0	3,000	皆増
合 計	278,933	267,614	11,319	4.2 %

資 本 的 収 支 差 引	△ 44,457	△ 56,596	12,139	21.4 %
---------------	----------	----------	--------	--------

## 令和3年度 旭市農業集落排水事業会計予算の概要

### 1. 業務の予定量

#### (1) 供用面積

供用面積を 48ha と予定した。

#### (2) 年間有収水量

年間有収水量を 138,965 m<sup>3</sup> (1日平均有収水量 380.7 m<sup>3</sup>、対前年度比 0.9%増) と予定した。

### 2. 収益的収入及び支出

下水道事業収益を 68,410 千円 (対前年度比 8.3%減)、下水道事業費用を 68,410 千円 (対前年度比 8.3%減) と予定した。

#### (1) 下水道事業収益の主なもの

- ・下水道使用料は、17,374 千円 (対前年度比 0.9%増) と予定した。
- ・他会計負担金は、企業債に係る支払利息等として、一般会計からの繰入金を 20,667 千円と予定した。

#### (2) 下水道事業費用の主なもの

- ・処理場費は、農業集落排水処理施設運転管理業務委託料等として、17,397 千円 (対前年度比 8.7%減) を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を 33,211 千円、企業債に係る支払利息を 2,770 千円と予定した。

### 3. 資本的収入及び支出

資本的収入を 17,748 千円 (対前年度比 46.4%増)、資本的支出を 18,328 千円 (対前年度比 12.3%増) と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額 580 千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

#### (1) 資本的収入の主なもの

- ・他会計負担金は、企業債に係る元金分として、一般会計からの繰入金を 17,328 千円と予定した。

#### (2) 資本的支出の主なもの

- ・企業債の償還金は、17,328 千円を予定した。

令和3年度旭市農業集落排水事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	17,374	17,211	163	0.9 %
(1) 下 水 道 使 用 料	17,374	17,211	163	0.9 %
2 営 業 外 収 益	51,036	57,384	△ 6,348	△ 11.1 %
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	0	1	△ 1	皆減
(2) 他 会 計 負 担 金	20,667	27,015	△ 6,348	△ 23.5 %
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	30,368	30,366	2	0.0 %
(4) 雑 収 益	1	2	△ 1	△ 50.0 %
合 計	68,410	74,595	△ 6,185	△ 8.3 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	63,255	68,323	△ 5,068	△ 7.4 %
(1) 管 渠 費	2,706	344	2,362	686.6 %
(2) ポ ン プ 場 費	0	5,474	△ 5,474	皆減
(3) 処 理 場 費	17,397	19,057	△ 1,660	△ 8.7 %
(4) 総 係 費	9,941	10,237	△ 296	△ 2.9 %
(5) 減 価 償 却 費	33,211	33,211	0	0.0 %
2 営 業 外 費 用	4,154	4,311	△ 157	△ 3.6 %
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,770	3,093	△ 323	△ 10.4 %
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	1,384	1,218	166	13.6 %
3 特 別 損 失	1	1,461	△ 1,460	△ 99.9 %
4 予 備 費	1,000	500	500	100.0 %
合 計	68,410	74,595	△ 6,185	△ 8.3 %

収 益 的 収 支 差 引	0	0	0	0.0 %
---------------	---	---	---	-------

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
1 他会計負担金	17,328	11,705	5,623	48.0 %
2 負担金及び分担金	420	420	0	0.0 %
合 計	17,748	12,125	5,623	46.4 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
1 企業債償還金	17,328	16,321	1,007	6.2 %
2 予備費	1,000	0	1,000	皆増
合 計	18,328	16,321	2,007	12.3 %

資本的収支差引	△ 580	△ 4,196	3,616	86.2 %
---------	-------	---------	-------	--------

